

動物実験に関する自己点検・評価報告書

千葉科学大学

平成 26 年 11 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験規程、千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学動物実験施設運営委員会規程

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

いずれの規程とも基本指針に則して、平成 20 年 3 月 24 日より施行されている。

4) 改善の方針

該当なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験規程、千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学協議会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。

4) 改善の方針

該当なし。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験規程、千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学動物実験施設運営委員会規程、計画書等の書式類、千葉科学大学動物実験計画審査要領

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

基本指針に則して、動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められ、動物実験計画の申請や実施結果の報告のための各種様式も定められている。

4) 改善の方針

該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学遺伝子組換え実験安全管理規程、千葉科学大学遺伝子組換え実験安全委員会規程、千葉科学大学動物実験規程、千葉科学大学バイオセーフティ実験室利用規程、千葉科学大学病原微生物等管理規程、各種書式

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が各種規定により定められている。また、遺伝子組換え動物実験については、動物実験計画書に遺伝子組換え動物実験に関する情報を記載する項目があり、必要な対応が行われているか確認できる体制になっている。病原体の感染動物実験については、病原微生物等管理規程の整備およびバイオセーフティ委員会の設置・運用開始等の実施体制が整備されており、改善されていることを確認した。

4) 改善の方針

特になし

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験規程、千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学動物実験施設運営委員会規程、千葉科学大学動物実験施設および共同実験施設利用指針、千葉科学大学協議会議事録、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

機関内における実験動物の飼養保管施設の状況が把握されており、動物実験施設および共同実験施設に管理者が置かれている。

4) 改善の方針

該当なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

放射性物質および発癌性物質等の有害化学物質を用いる動物実験については、対応できる施設・設備等を保有しないことから、これらの実験の実施を原則認めていない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学動物実験委員会議事録、動物実験計画審査要領

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

動物実験計画書の審査、動物実験計画の実施状況および結果の把握など指針に則して行っている。

4) 改善の方針

該当なし。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成 25 年度千葉科学大学動物実験計画書、千葉科学大学動物実験委員会規程、千葉科学大学動物実験施設運営委員会規程、千葉科学大学動物実験施設および共同実験施設利用指針、千葉科学大学動物実験施設利用の手引き、千葉科学大学共同実験施設利用の手引き、千葉科学大学動物実験委員会議事録、動物実験結果報告書、動物実験（中止・終了）報告書、動物実験計画審査要領

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

動物実験計画書の審査にあたっては、動物実験計画審査要領に基づいて、書式のチェック、内容の事前審査、委員会での審査を行っている。必要に応じて、修正やコメントを求め、重要な修正については再審査を行っており、また、結果報告も適正に行われている。基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。

4) 改善の方針

該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験計画書一覧、千葉科学大学動物実験委員会議事録、動物実験結果報告書、動物実験（中止・終了）報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

自己点検・評価時点では、病原体を用いた感染実験は実施されていない。遺伝子組換え動物実験については、本学の規程に則した実験が実施され、事故または違反もなかった。

4) 改善の方針

該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験施設および共同実験施設利用指針、千葉科学大学動物実験施設利用の手引き、千葉科学大学共同実験施設利用の手引き、動物飼養保管施設実地調査報告書、動物飼育観察管理記録、実習犬飼育観察記録、動物飼育週間観察報告書、実験動物飼育依頼書、動物飼育変更書、動物納品書

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する)

施設管理者は、飼養保管に関する業務内容の把握や改善等、適切な活動を行っており、飼養保管は本学の利用指針および利用の手引き等により適正に実施されている。

4) 改善の方針

該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画はたてられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験施設運営委員会議事録、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、動物実験室実地調査評価票、動物飼養保管施設実地調査報告書、施設等廃止届、空調設備保守点検報告書、微生物モニタリング報告書、動物実験施設入退室記録表、SPF 施設入退室記録表、共同実験施設入退出記録表、動物飼育等入室教育研修受講者名簿

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する)

本学の飼養保管施設は、千葉科学大学動物実験委員会と動物実験施設運営委員会の連携のもと適正に維持管理されている。

4) 改善の方針

該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験教育訓練記録、動物飼育棟入室教育研修受講者名簿、動物施設実施訓練名簿（実地訓練終了証明）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

動物実験実施者および飼養者等を対象に定期的に適正な教育訓練が行われている。教育研修会修了者には実験登録者番号が与えられ、動物実験が可能となる。

4) 改善の方針

該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

千葉科学大学動物実験委員会議事録、伺起案書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する）

自己点検・評価報告書を含む本学の動物実験に関する情報（千葉科学大学動物実験規程、動物実験委員会に関する規則、その他動物実験に関する規則、各種様式、実績）について千葉科学大学ホームページを通じて適正に公開されている。

4) 改善の方針

該当なし

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

対応できる施設・設備等の理由から、放射性物質および発癌性物質等の有害化学物質を用いる動物実験の実施を認めていないが、「平成 25 年度動物実験計画書」により、これらの動物実験は実施されていないことを確認した。